ゾーン３０プラス ～交通事故のない生活道路を目指して～

長崎県警察
交通規制課

1　「ゾーン30プラス」とは

生活道路における人優先の安全･安心な通行空間の整備の更なる推進を図るため、最高速度30km／hの区域規制「ゾーン30」とスムーズ横断歩道等物理的デバイスとの適切な組合せにより交通安全の向上を図ろうとする区域を「ゾーン30プラス」として設定し、道路管理者と警察が連携しながら整備を進めています。

2　「ゾーン３０プラス」の必要性

●生活道路における交通事故の発生状況

交通事故発生件数と車道幅員5.5m未満道路の交通事故発生率の推移

全国における交通事故（人身事故）発生件数は
年々減少していますが、
車道幅員5.5m未満の道路における**交通事故発生件数の減少率は鈍化**しており、全事故発生件数に占める割合は横ばいで推移しています。

【出典】警察庁資料より作成

車道幅員別・状態別交通事故死傷者数（令和3年中）

車道幅員5.5m以上の道路における
歩行者・自転車乗用中の死傷者の割合と比較して
車道幅員5.5m未満の道路は
約1.8倍多いです。

【出典】警察庁資料より作成

交通事故死者の状態別割合（令和3年中）

交通事故死者数の
約半数が**歩行中・自転車乗用中**です。

【出典】警察庁資料より作成

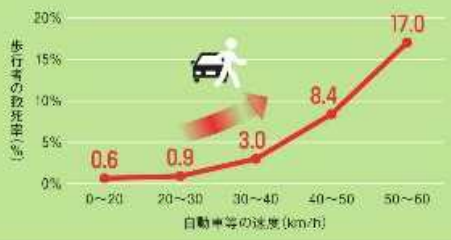
自宅からの距離別死者数の割合（令和3年中）

歩行中・自転車乗用中の
交通死亡事故の、
約半数は**自宅から500m以内で発生**しています。

【出典】警察庁資料より作成

自動車等の速度と歩行者の致死率

自動車等の速度が30km/hを超えると、
歩行者の**致死率が急激に上昇**します。



【出典】警察庁資料より作成
※1　「自動車等」とは、自動車、自動二輪及び原動機付自転車をいう。
※2　平成29年から令和3年までに車道幅員5.5m未満の道路の単路で発生した人対車両事故の分析による。
※3　致死率とは、死傷者数に対する死者数の割合をいう。

●物理的デバイス設置による効果（各地（36都道府県）で設置したスムーズ横断歩道の設置効果検証結果）

30km/hを超えて走行した自動車の割合

30km/hを超えて走行する自動車の
割合が低下しました。

横断歩道付近で停止又は徐行した自動車の割合

横断歩道を渡ろうとする歩行者がいる場合の
自動車の**停止・減速割合が向上**しました。

※1　「30km/hを超えて走行する自動車の割合」は異常値を排除するため最大・最小値から各2.5%の値を排除している（信頼区間95%）。
※2　「横断歩道付近で停止又は徐行した自動車の割合」は歩行者が横断歩道を渡ろうとしている場合に通行した自動車を対象としている。

「ゾーン30」や「ゾーン30プラス」の
区域内では、歩行者の飛び出し等に
より一層の注意をお願いします！！